

さんだボラセン
だより

風

津軽三味線 四葉会

三田市社会福祉協議会

ボランティア活動センター

〒669-1514 三田市川除 675

三田市総合福祉保健センター内 1F

TEL 079-564-0410 Fax 079-559-5945

URL <http://www.sanda-shakyo.or.jp/>

Eメール vcen@sanda-shakyo.or.jp

vol. 12 2010年 冬号



津軽三味線四葉会は、地域の敬老会や高齢者サロンなどの依頼で津軽三味線の披露をする活動されています。

仲間との時間はいつも切磋琢磨の時であると共に、一つの作品を作り上げる共同作業。

会場のみなさんは、津軽三味線の力強さと繊細さを楽しみ、時に手を打ちながら一緒に唄います。時間の経過とともに会場が一つになっていく、作品ができあがってきます。

発表の場をもらえるのが嬉しい」会場のみなさんに喜んでもらえるのが生きがい！」趣味が特技になり、ボランティア活動になりました。

ボランティア活動センター行事予定



- 2月13日(土) ボランティア連絡会運営委員会・わいわい交流会 (於: 三田市総合福祉保健センター)
- 2月14日(日) 地域デビュー準備術 (於: 三田市ウッティタウン市民センター)
- 2月17日(水) 福祉学習推進研修会 (於: 三田市総合福祉保健センター)

災害ボランティア活動は

災害ボランティアセンター

災害現場では様々な人が被災し、多種多様な要望が生まれます。行政では対応できない被災者のきめ細かな要望に対しては、ボランティアによる支援活動が大きな力として期待されます。「被災された方を支援したい」という思いをもって被災地に駆けつけたボランティアや、地元のボランティアの力を被災者の要望結びつけ調整する組織が**災害ボランティアセンター**です。



▲佐用町災害ボランティアセンター

災害現場は非日常的であり、「自分たちは何ができるのだろう」という声を耳にすることがあります。しかし、みなさんが普段されている活動が状況に応じて災害地でも活かされます。



▲ 福祉有償移送運転支援ボランティア「キャメル」（三田市総合防災訓練）

12月には Y.M.C.A. が台風 9 号豪雨災害の被災地の子どもたちの心と体のケアの取り組みとして「被災地児童招待キャンプ」が企画されました。募金が寄せられ、多くの方の支援により実現しました。

1 月 24 日の三田市総合防災訓練では「福祉有償移送運転支援ボランティアキャメル」が、災害発生時の要援護者非難誘導訓練に参加されました。

「何かできることを・・・」という思いを声にしていただき、ボランティア活動センターにお越しただけけたらと思います。

さんだ災福サロン

さんだ災福サロンは、平常時の取り組みとして災害ボランティア活動に関心のある方を対象にした情報交換・研修の場です。三田で自然災害が起こると、市外・県外から多くのボランティアが応援に来てくださいます。土地勘が無い方、ボランティア活動が初めての方も多いかもかもしれません。サロンメンバーは災害現場で活躍して下さるボランティアさんがスムーズに動ける様に受付や活動内容の説明等を職員と一緒に取組んで下さるボランティアです。関心のある方ご参加お待ちしております。



▲ さんだ災福サロンによるボランティア受入れ訓練（三田市総合防災訓練）

【問合せ先】三田市ボランティア活動センター TEL:079-564-0410



笑顔の輪インタビュー



「高め合える喜びと人生の広がりを得る活動」

点訳ボランティアどんぐり 田口 ひかるさん



今回の「笑顔の輪インタビュー」は点訳ボランティアどんぐり代表の田口ひかるさんです。

Q 活動内容を教えてください。

A 点字は視覚障がい者が手で触れて読む文字情報です。活動は主に点訳ボランティアグループ連絡会や図書館、個人からの依頼文書の点訳や、月に2回視覚障がい者へ触読指導をしています。

また、福祉学習の環境で市内の高校などに行き点字講習の授業をしています。

Q 活動を始められたきっかけは？

A 学生の時、図書館で点字を書いているボランティアさんを初めて見かけました。とても印象的で、それから子育てが落ち着き時間のできた時、「点字を覚えたい」と自然に思いました。通信講座で書き方を覚えた後、ボランティア活動センターで活動について聞きました。「どんぐり」を紹介されました。家庭との両立が可能な活動。これなら」と思い入会したのが7年前です。

Q 活動の喜びは？

A 点訳する時、ことばや文章表現で色々な勉強が必要なのが分かります。メンバーで確かなことを探し、ひ

とつものを作り上げるという共通の使命を感じます。情報を出し合い、高め合える仲間。誰もが無理をしないで活動が続けられるよう何でも言える関係になれたことが嬉しいです。また、視覚障がいのある方と活動し、その生活に触れていく中で人生の広がりをを感じ感動することが多くあります。

Q 最後にみなさんにメッセージを…

A 活動を続けるためには自分が好きなことができる時間です。大きなことでなく、些細なことでも誰かの役に立てることをする。そのためにはまず、自分自身を知ることが大切かもしれませんね。

活動訪問記

「大正琴たんぽぽ」 1月13日(水)

新春の風が冷たく心地よい朝、三田町の宅老所「いこいの家さんだ」で大正琴の披露をされている現場にお邪魔しました。

曲はどれも利用者が口ずさめる懐かしいもの。活動のため練習を重ねています。

「今日の音色はいつもより一層響いていますね」と声をかけられ、続く演奏に

益々心がこもっていきます。「喜んでもらえるから楽しんで来させてもらってる」「活動が練習にもなるんです」とメンバーさん。演奏と歌声が響き・響きあう暖かなひとときでした。

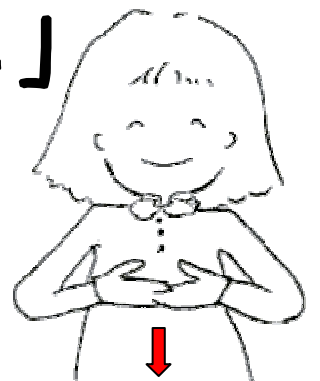


ちよこつと手話


日じろの心構えと地域のつながりで...

「安心」

両手の手のひらを上向きにして胸の前におき、下げる。



お知らせ

さんだボラセンだより 
2010年 冬号

地域デビュー準備術

団塊の世代・シニアのみなさん！豊かな人生経験、仕事で培ってきた技術・能力・経験を眠らせていませんか？ 様々な市民活動を紹介するイベントで、自分を活かすステージ(場)を探しにきませんか？

開催日時：平成22年2月14日(日) 13:00～16:00

開催場所：三田市立ウッディタウン市民センター2F

内 容：(メイン会場) 大集会室：市民活動、地域福祉活動等をブースごとに紹介・地域の情報

(サブ会場) 視聴覚室：特技を披露する団体との出会い 13:00～14:00

調理室：男性の料理教室による調理実演 13:00～16:00

会議室：団塊の世代の夫婦向けセミナー 14:00～15:00

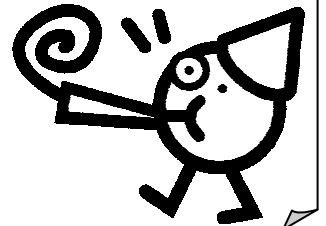
【講師】あしや喜楽苑参与 小玉 文吾 氏

「夫婦で考える団塊の世代地域デビュー準備術」

対象者：団塊・シニア世代のみなさん、ご夫婦

参加費：無料 *参加申込は不要です。直接会場にお越しください。

たくさんのご来場お待ちしております！



ボランティア・市民活動災害共済保険

3月1日より平成22年度ボランティア保険加入受付開始します！ボランティア活動をする前に、ボランティア保険に加入し安心して活動しましょう！ボランティア活動中の傷害給付・賠償責任給付・見舞金がセットされています。

■掛け金 年間 一人 500円 ■補償期間 掛け金を受け付けた日の翌日～翌年3/31

■加入手続きはボランティア活動センター、各地域福祉支援室(ウッディ・フラワー・広野・藍市民センター)、多世代交流館・シニアユースひろばにて。その他、お問合せは三田市社会福祉協議会 ボランティア活動センターまで。(TEL)079-564-0410 (FAX)079-559-5945

2010年を迎え今年こそは」とまた新しい目標を心に秘めている私ですが…。皆さまはどんな新しい目標をたてられたのでしょうか？
達成度100%でなくとも、心に「こうなりたい自分」を持っていることっていいですよ。ね。
時々それを取り出して、「サボり過ぎ」あるいは「中々良くやってる」と自分を省みたりして…。
そうは簡単に目標をクリアできるものではありませんが、今の自分を改めて知る機会になると思います。
一年後の今頃を楽しみに毎日積み重ねていくつもりです。私たちコーディネーターみんな元気いっぱい頑張ります。
皆さま今年もどうぞよろしくお願います。



ボランティアセンター